

麓刑務所・佐賀少年刑務所 見学記

ふもと 麓刑務所

刑事拘禁制度改革実現本部委員
新倉 修



カルチャーが違う

平成23年9月20日に、九州管区内唯一の女性施設を見学した。札幌刑務支所を北限とすれば、佐賀県鳥栖市山浦町の麓刑務所は南限である。施設内から九州新幹線が見え、新鳥栖駅から1.2キロの地にある。栃木刑務所(2009年見学)ともかなり違う。

所長と総務部長は男性であったが、職員100余名中、女性は8割弱を占める。敷地面積約45,900平米に収容定員302人のところ、現員378人。とはいえ、平成18年～19年の収容者数が最大で409人。混雑状況は少し緩和しつつある。女子施設は初めての勤務という所長にとって、ここは「日本一小さな刑事施設」で、「カルチャー・ショック」だったという。5月に調査したノルウェーでは、収容定員400人規模の施設は「大規模施設」と呼ばれているが、カルチャーがかなり違う。また、かの国では刑務官は応募倍率5倍を超える人気があり、専門の研修所で2年のトレーニングを受けないと現場に配属されない。

女子施設はどこでも、犯罪性の程度や刑期の長短にかわりなく、集合収容される。建物の各階ごとで施錠されるだけで、居室は施錠されず、トイレも居室内にはない。面会室も男性施設とは違う仕様になっている。麓刑務所には5メートルをこえるような塀はなく、丘陵地と緑地を利用して、周囲との境にはフェンスが多用され、開放的な環境を保持している。とはいえ、最高で80歳という高齢受刑者も増えており、高低差のある施設内の移動はきついかもしれない。また、施設の営繕保守に割り当てられる収容者が

いないので、施設の修繕には時間がかかる。

所内生活

刑務作業で得られる作業報奨金は、月平均3000円を下回る。特産は、佐賀錦という織物だが、特殊技能を要するので従事者は2名だけ、もうひとつの特産は久留米絨である。また全国の刑事施設で使われる刑務官の制服を縫っている。これには約半数の収容者が従事している。お茶の栽培や園芸もある。他方、職業訓練では6か月の課程で介護サービスを行うホームヘルパー科がある。近隣の老人ホームで実習を行っており、2級の資格を修得できる。

外部交通、面会など

書籍の閲読不許可は法律に定める基準で運用されており、件数はそれほど多くないという印象であった。覚せい剤関係の記事などが対象となり、暴力団関係の記事は特に閲読不許可にしているという印象であった。他方、手紙の検閲は、法律に定める基準に従っているが、年間3万件を超え、本年はすでに2万件に達した。1日の平均面会者数は平均11件程度であり、受刑者処遇法の施行による運用の変化は多少あった。日曜日面会を実施していることも特筆に値しよう。電話による交通はあまり利用されていないようである。

懲罰では、物品損壊と静謐阻害が主な事案で、本年はこれまで99件を数える。ここ5年間で最多は平成20年の199件であった。精神の障害によると思われるもので重篤なものは、大阪医療刑務所に移送するという。

2011 年 9 月 20 日，刑事拘禁制度改革実現本部は，代表 12 名及び事務局 1 名で佐賀県の麓刑務所と佐賀少年刑務所を見学した。

佐賀少年刑務所

刑事拘禁制度改革実現本部委員
高遠 あゆ子 (63 期)



左から5人目が筆者

佐賀少年刑務所とは？

佐賀少年刑務所はその名のとおり，佐賀県佐賀市にある男子の刑務所である。もっとも，少年刑務所というものの，私たちが見学に行った当時は少年はひとりも収容されていなかった。「少年刑務所」見学，と聞いていたため，まず少年がひとりもないことに驚かされた。

ここの収容対象者は，福岡矯正管区内で刑の確定した犯罪傾向の進んでいない少年受刑者及び26歳未満の受刑者ということである。見学しているとたしかに若い受刑者が多く元気な雰囲気である一方で，ときにかなり高齢な受刑者も混ざっており，全体的に府中刑務所のびりびりした雰囲気とはだいぶ異なる感じがした。

少年刑務所としての特色

少年に対しては，特別な教育的処遇がなされる。入所時には課題作文を書かせている。個別的な面接を中心として行っているが，集団指導も行う。佐賀少年刑務所では，特に被害者感情を理解させる指導や行動適正化指導に力を入れている。

年齢層が若いため，クラブ活動も盛んである。エアロビクス，ブラスバンド，ギター，将棋，剣道等さまざまな活動が行われている。

行事として，弁論大会があるのも特徴的だ。これは，受刑者が，体育館で他の受刑者たちの前で社会復帰への決意等を発表するというものである。

その他の特色

佐賀少年刑務所は，全国に8施設しかない総合職業訓練施設に指定されている。矯正処遇の一環として11種目の作業・職業訓練のプログラムが組まれており，各種の資格を取得できるようになっている。理容科で理容師免許，内装施工管理科では3級左官技能士，CAD技術科（パソコンを使った設計作業）ではCAD利用技術者1級などである。中には一般の合格率を大幅に上回るものもあるとのことであった。

その他に一般作業があるが，この中で特色として墓石製作が挙げられる。工場には大型の機械が置かれ，大きな御影石が磨かれていた。

このように，作業の盛んなところだからか，無事故・無違反者には腕章が与えられ，それを励みにしているようであった。

感想

今回見学した麓刑務所，佐賀少年刑務所はそれぞれ女性・犯罪傾向の進んでいない受刑者の施設だったからか，いわゆる刑務所から想像されるイメージとは少し違う雰囲気であった。とはいっても，過剰収容などの問題もある。弁護士が見学に行くことによりいい緊張感になればと思う。また，今後は収容者から直接話が聞ける機会ももってみたい。